

校長室だより

学校教育目標「学びを生かす子供」

八代市立龍峯小学校

校長 村嶋 博史



R3,7,5

NO,13

学力向上を目指した授業改善等に生かします

6月29日(火)、八代教育事務所から指導主事1名と八代市教育委員会から教育長をはじめ18名の総勢19名による学校訪問がありました。

午前中、全教職員が授業を公開し、午後からの授業研究会で、授業を参観された指導主事から「学力向上に向けた授業改善」についての指導・助言をいただきました。また、その他、学校経営全般に係る指導・助言もいただきました。

このいただいた指導・助言は、速やかに整理し、今後の授業改善や学校経営に必ず生かし、子供たちのますますの発展を目指します。

最後の全体会では、子供たちの様子についても話され、挨拶や返事、靴並べ、話の聴き方などについて、多くのお褒めの言葉をいただきました。この言葉は、翌日、各担任が子供たちに伝え、子供たちの自己肯定感の高揚を図りました。

児童集会(運営・人権委員会)

7月1日(木)、始業前の時間に児童集会が行われました。今回は、運営・人権委員会が「よりよい龍峯小にするためにみんなで話し合おう」をめあてに、今の学校で「良いところともう一步のところ」をみんなで話し合おうと呼びかけました。

子供たちは、縦割り班(異学年の集団)で集まり、6年生の班長を中心に話し合いました。

結果、良いところとしては、多くの班が「あいさつ」をあげ、他「九州一周マラソンの頑張り」が出されました。また、もう一步の所としては、多くの班が「靴並べ」をあげ、他「聞き方」と「集会時の発表」が出されました。

話し合いを通して、学校全体の良いところともう一步のところを全児童で共有できたことは、子供たちの「もっと良くなろう」「改善していこう」「気をつけよう」などという気持ちの高まりを生んだように感じました。

今後、運営・人権委員が、もう一步のところを中心に改善策を考え、全児童に提案するそうです。どう改善していくかととても楽しみです。



縦割り班での話し合い



会を進行した運営委員

子育て一口メモ 「子供らしい子供」 幼児教育家 はやし浩司

子供は子供らしい子供にする。素直で、明るく、伸びやかで、好奇心が旺盛で、生活力があって……。素直というのは、心の状態と、表情が一致している子供をいう。ねたむ、いじける、すねる、ひねくれるなどの症状のない子供をいう。そういう子供を目指し、それでダメというのなら、そんな学校は、こちらから蹴とばせばよい。それくらいの気構えは、親には必要である。

※学校ホームページにも様々な情報を掲載していますので是非ご覧ください。

八代市立龍峯小学校 でご検索ください。